



2026 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 北 興 化 学 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 佐野 健一
(コード番号 4992 東証スタンダード)
問い合わせ先 常務執行役員 榎本 浩巳
(TEL 03-3279-5151)

当社岡山工場からのベンゼン等を含む排水の流出について（第 2 報）

当社岡山工場前の吉浦海岸岸壁基礎付近において、ベンゼン等を含む排水が当社岡山工場から流出していることが判明し、近隣地域・住民の皆様、漁業関係者、行政機関その他関係者の皆様に、ご心配とご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。

当社は今回の事態を重く受け止め、対策本部を設置し、岡山県、玉野市などの行政機関からのご指示・ご指導のもと、原因究明および流出防止への対応、海洋水への影響調査等を急ぎ進めております。今後につきましても、これら対応に全力で取り組むとともに、再発防止に努めてまいります。

本日までに判明しております内容について、下記のとおりお知らせいたします。

1. 発覚日時

2026 年 7 月 14 日 16 時 15 分頃

2. 場所

(1) 事案が確認された工場

北興化学工業株式会社 岡山工場

(住所) 岡山県玉野市胸上 402 番地

(2) 流出が確認された場所

吉浦海岸岸壁基礎付近

(住所) 岡山県玉野市胸上 328 番地地先

同所は、7 月 17 日夕方以降、行政機関により、関係者以外の立ち入りが禁止されています。

3. 流出の状況および流出の原因

(1) 経緯

2026年7月14日16時15分頃、玉野市より、当社岡山工場前の吉浦海岸岸壁基礎付近から液体が流出しているとの通報があった旨の連絡があり、調査の結果、7月17日22時頃、当社が取り扱う化学物質が含まれている排水が流出していることを確認しました。

(2) 流出した排水に含まれる化学物質

ベンゼン、トルエン、キシレンなど。

(3) 流出の原因

流出の原因については、合成第6工場および合成第7工場の排水ピットの樹脂コーティング部分に亀裂があり、当該亀裂から廃液が流出したものと考えられますが、調査・究明を継続しております。

4. 流出防止への対応

当社はただちに、検出された化学物質を主に取り扱う合成第6工場および合成第7工場の運転を停止し、それぞれの排水ピットの廃液を抜き取りました。

また、水質調査の知見を有する外部事業者の助言を得て、流出場所付近での地下水の揚水を進めているほか、観測井戸から採取した地下水の水質調査を継続しております。吉浦海岸岸壁基礎付近からの排水流出に対しては、流出経路での地下水汲み上げおよび岸壁にある流出口の封鎖を行い、流出防止に努めております。また、岸壁からの新たな流出がないか、継続的に確認してまいります。

今後、抜本的な流出防止策について検討を進めてまいります。

5. 水質調査の状況

(1) 吉浦海岸岸壁基礎付近における調査状況

流出判明以降、当社において岸壁付近で採取した排水の水質調査を実施しております。

【排水の水質調査結果（2026年7月16日～27日）】

ベンゼン：1.5～4.6mg/L（参考：水質汚濁防止法の排水基準 0.1mg/L）

トルエン：23.7～37.3mg/L（同：水質汚濁防止法の基準なし）

キシレン：12.1～22.4mg/L（同：水質汚濁防止法の基準なし）

(2) 海洋水の調査状況

岡山県が実施した海洋水のサンプリング調査（2026年7月17日に、沖合2箇所、吉浦海岸付近1箇所で採取）の結果、同県からは、環境基準に適合している旨の報告を受けております。

また、当社において、外部専門機関に委託し、同様な調査・分析を進めております。

6. 製品出荷への影響

排水ピットを使用しない方法により排水流出の再発防止を徹底したうえで、合成第6工場および合成第7工場での生産を再開しております。その他工場については、排水ピットの使用を一時停止し地下への漏洩が無いことを確認したうえで、生産を継続しております。

製品の出荷については、概ね予定どおりの出荷を継続しております。

7. 業績に与える影響

本件に伴う当社連結業績に与える影響につきましては、判明次第、速やかにお知らせいたします。

以上

(本件に関する問い合わせ先)

本社企画部企画チーム広報担当 TEL : 03 (3279) 5151

岡山工場事務チーム TEL : 0863 (41) 1515